

(様式)

【受八議第210号】

通告番号 No10

令和8年8月21日

八頭町議会議長
川西 美恵子 様

3 番 八頭町議会議員 上野典子

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 「第3次八頭町総合計画」および「第3期八頭町総合戦略」について	(1) 矢部町長ご自身の政策理念や重点施策いわゆる町長としての「カラー」や独自の方針を反映させるため、改定や見直しを行うお考えはあるか伺いたい	町長
	(2) 持続可能な郡家駅前活性化について ア 郡家駅周辺に点在する空き家に対し、単なる場当たりの対応にとどめるのではなく、「総合計画」と言う町の最高ビジョンの中に明確に位置付け、今後どのように活用・誘導していくのか、具体的な計画はあるか。 イ 「郡家駅前活性化検討委員会」から提出された結果報告書を、今後の駅前造りにどう活かして行くのか、そして「デザイン会議」などを活用していくお考えはあるか。 ウ 駅周辺活性化のため国から大胆に予算を確保する強い意志はあるか伺いたい。特に「地方創生推進交付金」や、「過疎地域持続的発展支援交付金」「土地開発公社」などを積極的に活用・申請していく予定はあるか。	町長
	(3) 20年先を見据えた本格着工の予定と、それまでの「暫定的な活性化」について ア 総合計画に基づく本格的な開発や工事が始まるまでの数年間、現状のまま放置するのではなく、その「着工までの期間」を有効に生かした暫定的な活性化策や、仕組み造りを進めるべきと考えるが、これに対する町長のビジョンを伺いたい。 イ これまで「出る杭を伸ばす」駅前活性化事業にかぎり、何件の応募や名乗りがあったのか、実績を伺いたい。	町長

(様式)

	ウ 自身の仕事を持ちながら副業に近い形で自発的に立ち上がろうとする、熱意ある町民有志の動きに対し、「後援」「情報提供」「家賃の免除や物件所有者とのマッチング」の窓口を一本化するなど実効性のある具体的な応援・協力体制を構築し町として伴走支援していく意思があるか。 エ 一過性のイベントで終わらず、日常的に人が行き交う空間を創出するため、かつての「楽市楽座」「軽トラ市」の様に規制緩和を行い町民が町民のために楽しみながら活性化する仕組みそして八頭町にもチャレンジショップを置く必要があると考えるが町の見解をうかがいたい。	
--	--	--